

2017年12月1日

会社名：株式会社合人社グループ
本社所在地：広島県広島市中区袋町4-31
代表者名：代表取締役 福井 滋
問い合わせ先：取締役経営企画本部長 山本 計至
電話番号：082-247-7475 (代表)

MANGA ナショナル・センター構想の実現に向けた要望について

当社のグループ中核企業である株式会社合人社計画研究所は、PPP 事業※「立川市旧庁舎施設等活用事業」を立川市から受託しており、「立川市子ども未来センター」（東京都立川市錦町）の維持管理・運営並びに事業マネジメント業務を行っています。同センター2階にある「立川まんがぱーく」は当社が独立採算の自主事業として運営しているものです。「立川まんがぱーく」は、1日大人(15歳以上、高校生以上)400円・小人(小・中学生)200円で約4万冊のまんがが読み放題の施設で、数多くのマスコミで取り上げられるなど、高く評価を受けてるところです。

このたび、「立川まんがぱーく」と密接な関係であり代表的な同種施設である「京都国際マンガミュージアム」が、地方を拠点とするマンガ図書館・ミュージアムと共に、マンガ・アニメ・ゲームに関する議員連盟が掲げる「MANGA ナショナル・センター構想」の実現に向けた要望を実施することとなりました。「立川まんがぱーく」も共同要望へ賛同します。

「MANGA ナショナル・センター構想」の実現に向けた要望は以下の通りです。

※PPP 事業とは：Public Private Partnership (パブリック・プライベート・パートナーシップ)の頭文字。公民が連携して公共サービスの提供を行うスキームです。

記

1 要望先

マンガ・アニメ・ゲームに関する議員連盟 (MANGA議連)

2 要望日時・場所

MANGA議連総会内で要望

<総会> ・日時 平成29年12月5日(火) 16時30分～17時30分

・場所 衆議院第1議員会館 第1会議室

3 対応者

京都国際マンガミュージアム荒俣宏館長 (21施設・団体を代表して要望文を提出)

4 要望施設・団体

地方を拠点とするマンガ図書館・ミュージアム21施設・団体

共同要望の発起人 6施設・団体(50音順)

北九州市漫画ミュージアム、京都国際マンガミュージアム、NPO 法人熊本マンガミュージアムプロジェクト、

新潟市マンガ・アニメ情報館、明治大学マンガ図書館、横手市増田まんが美術館

共同要望への賛同施設 15 施設(50 音順)

石ノ森萬画館、川崎市市民ミュージアム、GALLERY タマリン館、合志マンガミュージアム、少女まんが館、昭和漫画館青虫、高島華宵大正ロマン館、宝塚市立手塚治虫記念館、田河水泡・のらくろ館、立川まんがぱーく、千曲市ふる里漫画館、ちびまる子ちゃんランド、富永一朗あづま漫画廊、新潟市マンガの家、松本かつち資料館

5 要望内容

日本のマンガ・アニメ・ゲーム(MANGA=Manga ANimation GAme)といったコンテンツは、海外で高い人気を博しており、世界中の人々から愛される文化であると共に、産業面においても更なる成長が期待されています。一方、このジャンルでは、日本の文化財ともいえる作品や関連資料の散逸、作品等の収集やアーカイブ作業を担う人財育成の遅れなど、さまざまな課題を抱えています。

こうした課題の解決に向け、現在、マンガ・アニメ・ゲームに関する議員連盟が掲げる「MANGAナショナル・センター構想」に基づき、国等において、「①資料の蓄積」、「②人財の育成や産業振興」、「③点在する関連施設の連携拠点としての国際的な情報発信と人の交流の促進」を目指す拠点「MANGAナショナル・センター(仮称)」の整備に向けた検討が進められています。

我々、地方を拠点とするマンガミュージアム・図書館 21 施設・団体は、「原資料の散逸防止」や、「体系的なアーカイブの構築」、「人財育成」等について、国が積極的に取り組むことに賛同すると共に、これらの取り組みの全国的な広がりに向け、次の点を要望します。

「MANGA」に対する国の意思の明示と発信

このジャンルに関わる「原資料の散逸防止」、「体系的なアーカイブの構築」、「人財育成」について、国がその必要性を明示し、広く社会に発信すること。

全国的視野による既存施設に対する支援

上記の新たなセンターを含む全国の拠点形成と施設間ネットワークを構築し、既存の地方施設の運営面等に対する支援を強化すること。

アーカイブの形成と活用に対する支援

新たなセンターのアーカイブを既存の地方施設でも利用できるようにすると共に、既存施設のアーカイブの形成や活用を推進できるよう、専門的な人財の育成等を支援すること。

<参考>マンガ・アニメ・ゲームに関する議員連盟 (MANGA 議連)

マンガ、アニメ、ゲームの振興や海外展開促進、アーカイブ施設の設立、クリエイターの就労環境の改善、海賊版対策等をめざし、超党派の国会議員により平成26年11月18日に設立。 ※ MANGA=Manga, ANimation, GAme

以上



2013年
グッドデザイン賞 受賞

受賞 旧市庁舎と空き地の再生
対象名 [立川市子ども未来センター]
ソフト、ハード両面から、これからの公共施設づくりのプロトタイプになるものであると高く評価いただきました。

立川市旧庁舎施設等活用事業

事業概要

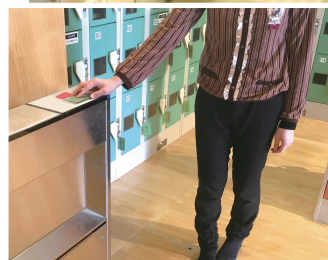
発注者：立川市
事業者：合人社計画研究所グループ
事業方式：PPP・RO方式
事業期間：2011年9月～2024年3月（12年7ヶ月）
建物名称：立川市子ども未来センター
住所：東京都立川市錦町3-2-26
規模：延床面積4319.86㎡、地上2F・地下1F、SRC造
主な機能：行政窓口・子育て支援施設・まんがぱーく・アトリエ・スタジオ・共用諸室・芝生広場等
総受託額：約55億円、当社受託額 約18億円
役割：代表構成員（維持管理業務、運営業務、自主提案事業（立川まんがぱーく））

事業紹介

本事業は、市庁舎が移転した後の旧庁舎施設及び隣接する市民会館の改修整備と維持管理・運営を一体的に実施することにより、立川駅南口地域の活性化・市民サービスの向上、地域のにぎわいを創出することを目的としているものです。中でも「立川まんがぱーく」は、平成25年3月20日に当施設2階にオープンし、当社が独立採算の自主事業として運営を行っています。公共施設にマンガという、独創性あるコンセプトや、子育て支援、市民活動等の民間ノウハウを活用した積極的な取組み等、民間事業者としての創意工夫が認められたものであることが評価され、高い注目を集めています。



◀ 立川まんがぱーく入口



▲ 琉球畳敷が特徴的な立川まんがぱーく内

◀ 自動改札のメカニズムを利用した立川まんがぱーくの入館ゲート

▶ 立川まんがぱーく大市

